

# ユーザをインポートした Unity Connection AXL および LDAP

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ユーザのインポート](#)

[インポートされた使用のタイプの確認](#)

[AXLインポートユーザ](#)

[非AXLインポートユーザ](#)

[LDAPインポートユーザ](#)

[非LDAPインポートユーザ](#)

[参考資料](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Unity Connection のコマンドライン インターフェイス ( CLI ) コマンドを使用して、インポートされたユーザのタイプを特定する方法について説明します。

Unity Connectionでは、Cisco Unified Communications Manager(CUCM)とActive Directory(AD)の2つのソースからユーザをインポートできます。CUCMからインポートされたユーザは、Administrative XML(AXL)インポートされたユーザと呼ばれます。Active Directoryからインポートされたユーザは、Lightweight Directory Access Protocol(LDAP)インポートされたユーザと呼ばれます。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unity Connection
- Cisco Unified Communications Manager
- Microsoft Active Directory

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Unity Connectionリリース7.X以降

- Cisco Unified Communications Managerリリース7.X以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細については、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## ユーザのインポート

AXLユーザの場合は、『[Cisco Unified Communications Managerユーザからの複数のCisco Unity Connection 8.xユーザアカウントの作成](#)』を参照してください。

LDAPユーザの場合は、『[Cisco Unity Connection 8.xでのLDAPユーザデータからのユーザアカウントの作成または既存ユーザのLDAP統合ステータスの変更](#)』を参照してください。

## インポートされた使用のタイプの確認

インポートされたユーザのタイプを識別するには、CLIで次のコマンドを入力します。

### AXLインポートユーザ

```
run cuc dbquery unitydirdb select displayname, dtmfaccessid, ccmid, ccmidtype from vw_subscriber
where
ccmid is not null
```

### 非AXLインポートユーザ

```
run cuc dbquery unitydirdb select displayname, dtmfaccessid, ccmid, ccmidtype from vw_subscriber
where
ccmid is null
```

### LDAPインポートユーザ

```
run cuc dbquery unitydirdb select displayname, dtmfaccessid, ldapccmuserid, ldaptype,
ldapccmpkid from
vw_subscriber where ldapccmpkid is not null
```

### 非LDAPインポートユーザ

```
run cuc dbquery unitydirdb select displayname, dtmfaccessid, ldapccmuserid, ldaptype,
ldapccmpkid from
vw_subscriber where ldapccmpkid is null
```

**vw\_subscriber**には、ボイスメールサブスクリプションを持つすべてのユーザが含まれます。ユーザ情報と関連するボイスメール情報が含まれます。次のような便利な列名を含めることができます。

- 名
- 姓
- alias
- Emailaddress

例：

```
run cuc dbquery unitydirdb select firstname, lastname, alias from vw_subscriber
```

前のセクションに示す例に*where*句を含めて、LDAP/非LDAP/AXL/非AXLユーザなどのユーザタイプ固有の情報を取得します。

vw\_subscriberのすべてのカラムのリストを取得するには、次のように入力します。

```
show cuc dbview schema unitydirdb vw_subscriber
```

## 参考資料

### Ccmidtype

- 0 - CCMエンドユーザ ( 別名AXLインポート )
- 3 - ldapユーザ
- 4 : 非アクティブなldapユーザ。たとえば、ccm database内でinactiveとマークされています

### Ldapccmpkid

Ldapccmpkidがnullでない場合、ユーザはLDAP Integratedです。

### Ldaptype

- 0 - ユーザがLDAPに対応していない
- 1 - ldap同期が有効
- 2 - ldap認証が有効
- 3:ldapは有効だが、ユーザに対して一時的に非アクティブ

## 関連情報